

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
宇都宮市	清原地区	令和3年3月29日	令和5年9月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,440 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	860 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	547 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	201 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	200 ha
④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計	207 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

現在は、中心経営体等により地区内の農地が維持管理できているが、中心経営体の高齢化も進み後継者不足も懸念されるため、新たな農地の受け手を育成・確保しつつ、営農維持の支援や効率化を図るための集積・集約化を進め、持続可能な地域農業を目指すことが必要である。

3 対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

<地区全体>

中心経営体や担い手の育成を進めていく中で、規模拡大の意向のある農業者に集積を行うと共に、農地の見守り手である多面的機能支払交付金の活動組織と共同活動に取り組みながら、地域の農地全体の営農継続を図る。

<北部地区>

中心経営体の後継者・担い手不足が懸念されるため、集落営農組織の設立も視野に入れ、新規参入も考慮した営農維持を検討する。

<南部地区>

各種営農活動も盛んで、後継者への経営移譲も進んでいる地域であり、中心経営体も多く存在し活発な営農活動が行われているが、中心経営体に頼り過ぎることなく新規就農者を育成していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
認農		野菜	9.0 ha	野菜	15.0 ha	
認農		水稲	8.0 ha	水稲	30.0 ha	
認農法		麦	0.4 ha	麦	1.2 ha	他地区あり
認農法		野菜	4.0 ha	野菜	10.0 ha	
認農		水稲, りんご	3.4 ha	水稲, りんご	4.5 ha	
認農		水稲	14.6 ha	水稲	15.0 ha	
認農		水稲, 苺	5.5 ha	水稲, 苺	6.5 ha	
認農法		トマト	1.2 ha	トマト	1.2 ha	
認農		梨	2.0 ha	梨	2.0 ha	
認就		—	—	苺	0.2 ha	
認就		野菜	0.1 ha	野菜	0.1 ha	
認農		トマト	0.6 ha	トマト	0.6 ha	
認農		梨	2.4 ha	梨	2.4 ha	
認農		メロン, トマト	1.0 ha	メロン, トマト	1.0 ha	
認農		ぶどう	1.3 ha	ぶどう	1.4 ha	
認農		トマト	1.0 ha	トマト	1.0 ha	
認農		養鶏 水稲, 栗	8,000羽 1.8 ha	養鶏 水稲, 栗	8,000羽 1.8 ha	
認就		—	—	きゅうり, ピーマン	0.4 ha	他地区あり
認就		—	—	野菜	1.7 ha	
認農		りんご	2.9 ha	りんご	3.5 ha	
認農		水稲, 苺	3.7 ha	水稲, 苺	5.2 ha	
認就		—	—	アスパラガス	0.3 ha	
認就		アスパラガス	0.2 ha	アスパラガス	0.3 ha	
認農		水稲	3.5 ha	水稲	3.5 ha	
認農		水稲	6.3 ha	水稲	6.5 ha	
認就		野菜	0.2 ha	野菜	0.8 ha	
認農		水稲, 野菜	7.3 ha	水稲, 野菜	7.3 ha	
認就		—	—	アスパラガス	0.8 ha	
認農		トマト	0.5 ha	トマト	0.7 ha	
認農		水稲, トマト	2.0 ha	水稲, トマト	2.4 ha	
認農		水稲	8.1 ha	水稲	20.0 ha	
認農		水稲, そば	43.0 ha	水稲, そば	50.0 ha	
認農		苺	0.6 ha	苺, 野菜	1.0 ha	
認農		水稲, 麦, トマト	22.4 ha	水稲, 麦, トマト	35.4 ha	
認種		—	—	苺	0.2 ha	
認農		梨	2.8 ha	梨	2.8 ha	
認農		水稲	5.0 ha	水稲	10.0 ha	
認農		水稲	15.0 ha	水稲	20.0 ha	
認農法		野菜	7.0 ha	野菜	10.0 ha	

認農		梨	2.3 ha	梨	2.3 ha	
認農		水稻, 野菜	4.8 ha	水稻, 野菜	4.8 ha	
認農		水稻, 麦	42.0 ha	水稻, 麦	60.0 ha	
認農法		水稻	1.0 ha	水稻	2.0 ha	市外
認農		洋蘭	0.5 ha	洋蘭	0.5 ha	
認農		水稻, 麦	38.0 ha	水稻, 麦	68.0 ha	
認農		梨	1.8 ha	梨	2.0 ha	
認農		胡蝶蘭	0.2 ha	胡蝶蘭	0.2 ha	
認農法		—	—	野菜	10.0 ha	市外
認農		麦	1.0 ha	麦	1.5 ha	他地区あり
認就		—	—	大玉トマト	0.6 ha	他地区あり
認農法		—	—	野菜	10.0 ha	市外
認農		水稻, 梨	5.1 ha	水稻, 梨	5.1 ha	
認農		果樹, 野菜	1.2 ha	果樹, 野菜	1.2 ha	
認農		梨	2.1 ha	梨	2.3 ha	
認農		水稻	3.4 ha	水稻	10.0 ha	
認農		水稻, 野菜	1.4 ha	水稻, 野菜	11.8 ha	
認農		水稻, 麦, 野菜	12.0 ha	水稻, 麦, 野菜	20.0 ha	
認農		水稻, トマト	1.8 ha	水稻, トマト	1.8 ha	
認農法		果樹	3.7 ha	果樹	4.2 ha	
認農		アスパラガス	0.2 ha	アスパラガス	0.2 ha	
計	60人		309.3 ha		495.2 ha	

農地の守り手・支え手

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
		水稻・麦	1.9 ha	水稻・麦	3.9 ha	市外
		苺	0.1 ha	苺	0.2 ha	
		麦	0.2 ha	麦	0.2 ha	市外
		水稻, 麦	1.0 ha	水稻, 麦	1.0 ha	市外
認農		水稻	5.5 ha	水稻	5.5 ha	
		水稻, そば, 牧草	6.0 ha	水稻, そば, 牧草	6.0 ha	市外
		水稻・そば	2.5 ha	水稻・そば	2.5 ha	市外
		水稻, 麦	3.7 ha	水稻, 麦	3.7 ha	市外
		水稻	3.0 ha	水稻	3.0 ha	市外
		水稻	10.0 ha	水稻	15.0 ha	市外
		にら	0.3 ha	にら	0.3 ha	
		ねぎ	3.0 ha	ねぎ, ハクサイ	3.0 ha	
認農		植木	11.0 ha	植木	11.0 ha	
		水稻・麦	1.3 ha	水稻・麦	1.3 ha	市外
		麦・そば	6.0 ha	麦・そば	8.0 ha	市外
		水稻	3.0 ha	水稻	5.0 ha	
		水稻	0.5 ha	水稻	0.5 ha	市外

		花木	0.5 ha	花木	0.5 ha	市外
認農		水稻	2.7 ha	水稻	3.0 ha	市外・他地区あり
		麦	5.4 ha	麦	5.4 ha	市外
		—	—	水稻, 麦, 大豆	0.3 ha	市外
		野菜	0.4 ha	野菜	2.1 ha	他地区あり
		野菜	0.6 ha	野菜	1.0 ha	
		水稻	2.8 ha	水稻	3.8 ha	市外
		水稻	1.4 ha	水稻	1.4 ha	
		果樹, 野菜	0.04 ha	果樹, 野菜	0.3 ha	
		水稻	4.0 ha	水稻	10.0 ha	
		水稻	2.8 ha	水稻	2.8 ha	
		水稻・野菜	3.0 ha	水稻・野菜	3.0 ha	
		水稻	2.5 ha	水稻	2.5 ha	
認農		水稻・梨	4.5 ha	水稻・梨	4.5 ha	
計	31 人		89.6 ha		110.7 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地中間管理機構の活用方針

経営農地の集約化を目指し、機構と綿密に連携を取りながら中心経営体へ貸し付けを進めていく。中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し農地の保全管理や新たな受け手への付け替えを進めていく。

基盤整備への取組方針

ほ場整備の完了している地域や現在整備が進められている地域があるが、農作業の効率化を図るため、農地耕作条件改善事業などを活用しながら更なる農地の大区画化に取り組む。

高収益性作物の導入方針

米・麦等の土地利用型作物以外に、収益性の高い施設園芸作物の生産に取り組む。
また、農地の集積・集約と同時に、地域の農産物のブランド化を推奨して生産者の収益性を高めていく。

鳥獣被害防止の取組方針

地域による鳥獣対策として、目撃・被害の発生状況を把握しながら、被害防止対策の構築に取り組む。

災害対策への取組方針

水害防止のため、田んぼダムの導入について関係機関と連携して取り組む。